

事業者

児童発達支援自己評価表

討議日：令和2年1月20日

公開日：令和2年1月27日

事業所名 りはくる

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		
	2	職員の配置数は適切であるか	○		作業療法士、言語聴覚士、保育士、看護師、社会福祉士など多くの専門職が配置されています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		毎年一回行っています。保護者からの意見を参考にし、玄関のガラス窓に目隠しテープを貼りました。靴箱の名前などが外から見えないように工夫しました。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		ホームページで公開しています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	第三者による外部評価は小さな事業所のため受けていません。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		各専門職が施設内、施設外の研修を受けています。旅費や研修費の補助制度があります。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		アセスメントは保護者からしっかりと時間をかけて行っています。その際サポートブックがある場合は提出して頂いています。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		相談支援員の作成した障害児支援利用計画を基に発達支援、家族支援、地域支援を抜粋し、より具体的にわかりやすい支援内容を設定しています。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		他職種のチームがそれぞれの専門性を活かした活動プログラムを立案しています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		毎月1回デイ会議を開き、活動プログラムについて話し合いをしています。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		子供の発達状態や特性に合った活動内容を展開しています。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		毎日、朝礼でその日の活動内容やプログラムを職員全員で共有しています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		支援に携わった職員が支援の記録を書きます。その後、支援を振り返りながら気付いた点を話し合います。支援が困難な場合はその都度ケーススタディに上げて職員で話し合っています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		日々の記録と1か月のまとめの記録をとっています。子どもの変化や成長を確認し支援の方法を見直しています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		子どもの成長や状態によってモニタリングを行い計画を見直しています。

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○	基本は児童発達支援管理責任者が出席していますが職種に関係なく子どもの状況が詳しく分かっている職員も同行しています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○	相談支援員を始め、子どもが通っている園や市の発達支援係と連携しています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○	幼稚園や保育園と連携しています。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○	主治医との連携はしていません。今後は主治医と連絡体制が取れるといいと思います。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	園に通っているお子さん(三歳児以上)を対象としています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	作業療法士が行う発達検査「JMAP」の結果を説明し、小学校や小学部との連携に努めています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○	市内、市外の事業所を問わず連携し子どもの発達や状況などを共有しています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○	特に行っていません。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○	連絡ノートで家庭での様子、学校での様子を保護者と共有しています。支援後は職員が保護者にフィードバックを口頭で行って共通理解を深めています。
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○	今後の課題として取り組んでいきたいと思っています。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○	ホームページで活動や行事予定、お知らせなどを発信しています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○	契約時にホームページなどに子どもの写真を載せるか否かの同意書などを頂いています。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○	特に行っていません。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○	月1回、避難訓練(地震or火事)を行っています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○	アセスメントで子どもの状況を把握し緊急時の対応についても保護者から聴取しています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○	毎週月曜日に朝礼でヒヤリハットの報告をしています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○	虐待防止のため施設内研修や職員全員にチェックリストを行っています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○	身体拘束のための説明をし、保護者から同意書を頂いています。